

地域医療に係る医師の確保

〔共通・継続〕

■ 現 状

西胆振圏域における医療は、基幹病院として4つの総合病院を配し、病院相互の連携(病病連携)や、病院と診療所との連携(病診連携)を拡充しながら地域住民が安心できる医療を提供してきた。

しかし、診療科の統合調整や医科大学への医師引揚げなどで診療科の偏りが相次いでおり、診療科によっては医師不足の状況にある。

■ 課 題

● 救急医療等における医師の負担増大

救急医療に関しては、外傷度合いや疾病により救急を担う医療機関が限定されていることから、医師への負担増大が大きな問題となっている。また、リウマチ・膠原病・血液のがん・透析専門医などの専門分野において診療科が減少しており、特定医師の疲弊にも繋がるほか、圏域内では対応に苦慮する状況が出始めている。

● 胆振西部地域における整形外科・循環器科の充実

胆振西部地域では、整形外科及び循環器科の医師不足により適切な診療を受けられない住民が数多くおり、高齢化が進行する当地域において影響が大きい。

● 登別厚生年金病院の存続

登別厚生年金病院は、登別市唯一の公的病院として、整形外科や温泉療法を含む医学的リハビリテーションの他、内科、外科等の診療も総合的に行い、登別市はもとより近隣市町からも多くの患者を受け入れるとともに、西胆振の一次・二次救急医療の一翼も担っており、当圏域の地域医療にとって重要な役割を果たしている。



登別厚生年金病院

■ 要 望 内 容

西胆振における安定した医療の確保のため、適正なる医師の配置整備をお願いするとともに、特に胆振西部地域における整形外科・循環器科が充実されるよう特段の配慮をお願いしたい。

また、登別厚生年金病院が今後も地域医療を担う公的病院として存続し、その機能が維持できるよう特段の配慮をお願いしたい。